

# 令和5年度事業概況

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

## 甲、庶務に関する事項

### 1. 総会

#### (1) 第73回通常総会

令和5年6月23日に東京都内の中野サンプラザで開催し、次の事項を議決した。

##### I 報告事項

- 第1号報告 令和4年度事業報告の件
- 第2号報告 公益目的支出計画実施報告の件
- 第3号報告 令和5年度事業計画の件
- 第4号報告 令和5年度収支予算の件

##### II 提出議案

- 第1号議案 令和4年度収支決算報告承認の件
- 第2号議案 令和5年度会費徴収方法承認の件
- 第3号議案 令和5年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 付帯決議の件

### 2. 理事会

#### (1) 第318回理事会

令和5年6月1日に東京都内の中野サンプラザで開催し、次の事項を議決した。

##### I 報告事項

- (1) 社員選挙当選者の報告
- (2) 登録事務取扱団体の変更
- (3) 家畜改良関係会議の概況
- (4) J R A新規畜産振興事業の実施
- (5) 第10回全日本ブラックアンドホワイトショウの概要

##### II 協議事項

- (1) 令和4年度事業報告
- (2) 令和4年度収支決算報告
- (3) 第73回通常総会の招集及び付議事項
- (4) 第16回全日本ホルスタイン共進会
- (5) インボイス制度の導入
- (6) 今後の行事日程

(2) 第 319 回理事会

令和 5 年 6 月 23 日に東京都内の中野サンプラザで開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 4 年度登録委員並びに支部・承認団体の表彰
- (2) 令和 4 年度審査成績並びに検定成績優秀牛群等の表彰

II 協議事項

- (1) 第 73 回通常総会付議事項

(3) 第 320 回理事会

令和 5 年 11 月 13 日に東京都内のビジョンセンター品川で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 5 年度中間事業概況
- (2) 令和 5 年度中間決算報告
- (3) 令和 5 年度中間監査報告
- (4) 令和 5 年度登録委員研修会並びに登録事務担当国会議の概要
- (5) 令和 5 年度国等補助事業の実施状況
- (6) 乳用牛改良推進協議会関係
- (7) 2023 年世界ホルスタイン・フリースタン会議

II 協議事項

- (1) 任期満了に伴う役員改選
- (2)  $\beta$ カゼイン A 2 型の遺伝子型調査
- (3) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会
- (4) 今後の行事日程

(4) 第 321 回理事会

令和 6 年 3 月 22 日に東京都内のビジョンセンター品川で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 5 年度中間事業概況
- (2) 令和 5 年度社員会議・冬期登録事務担当国会議の概要
- (3) 令和 5 年度補助事業等の実施状況
- (4) 家畜改良関係会議の概要
- (5) 2023 年世界ホルスタイン・フリースタン会議の概要
- (6) 能登半島地震災害義援金

II 協議事項

- (1) 令和 6 年度事業計画

- (2) 令和6年度収支予算
- (3) 役員報酬の支出
- (4) 支部・承認団体の指定取消し
- (5) 令和6年度乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業
- (6) 自動登録の実施取扱細則の一部改正等
- (7) 第16回全日本ホルスタイン共進会関係
- (8) 今後の行事日程

### 3. 監査会

令和5年5月11日に本会会議室において公認会計士による外部監査を実施し、5月19日に令和4年度決算監査会を開催して会計監査並びに業務監査を行った。また、10月20日には令和5年度中間監査会を開催した。

### 4. 社員会議

本会社員に対して、当年度の事業実施状況や中間決算を報告するとともに、次年度の事業計画骨子等を協議するため、東西2地区において社員会議を開催した。また、「ゲノミック情報利活用システム(GenIUS)」と「2023年世界ホルスタイン・フリージアン会議の概要」について講演を行った。

地区	開催地	期日	出席者
東日本	東京都内	令和6年2月9日(金)	45名
西日本	福岡市内	同 2月2日(金)	31名

### 5. 社員選挙

令和5年5月18日に任期満了に伴う社員選挙を実施し、各選挙区で候補者が社員定数を超えなかったため、社員選挙規則第18条に基づき、無投票で候補者58名の当選が確定した。翌5月19日開催の選挙管理委員会に報告し、社員当選者への通知と当協会ホームページで公示を行った。

また、社員の辞任に伴い、令和6年1月に熊本県2区、2月に宮崎県でそれぞれ社員補欠選挙を実施し、新しい社員各1名が就任した。

### 6. 会 員

令和6年3月末日現在の会員数は次のとおり。

#### (1) 会 員

	本局	支局	合計
会費申込件数	3,932名	5,072名	9,004名
(前年度実績比)	(91.9%)	(93.2%)	(92.6%)

## (2) 賛助会員

	本 局	支 局	合 計
(団体)			
会員数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
払込件数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
(個人)			
会員数	26 名	0	26 名
払込件数	26 名	0	26 名

## 7. 職 員

令和6年3月末日現在の職員数は次のとおり。

職 名	本 局				支 局				合 計
	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	平成6 年3月 末現在	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和6 年3月 末現在	
事務局長									
支 局 長					1			1	1
技 師	9	1		10	19	2	2	19	29
主 事	10		1	9					9
参与・嘱託	1	1		2					2
事務取扱		1		1	22	4	4	22	23
合 計	20	3	1	22	42	6	6	42	64

## 8. 登録委員

種 別	任 命 委 嘱	解 職 解 嘱	令和6年 3月末現在	備 考
総務委員			2 名	
審査委員	1	1	17 名	
検定委員	96	106	1,590 名	
計	97 名	107 名	1,609 名	

## 9. 支部の設置

令和6年3月末日現在の支部の設置状況は次のとおり。

秋田県支部 (S35.4.1～)、京都府支部 (S42.4.1～)

(附) 支部・承認団体一覧

区 分		都 道 府 県
支部	2	秋田、京都

承認団体	45	
ホルスタイン協会	(3)	宮城、静岡、奈良
酪農協連、酪農農協連	(7)	茨城、千葉、神奈川、新潟、愛媛、長崎、熊本
経済農協連	(1)	宮崎
全農	(2)	青森、長野
農協	(4)	北海道、島根、香川、佐賀
酪農協、酪農農協	(14)	福島、栃木、東京、石川、愛知、三重、兵庫、鳥取、岡山、広島、徳島、福岡、大分、鹿児島
畜産農協	(1)	大阪
家畜改良協会	(3)	山梨、和歌山、沖縄
畜産会	(2)	埼玉、高知
畜産協会	(5)	岩手、山形、群馬、福井、岐阜
畜産振興協会	(3)	富山、滋賀、山口
合計	47	

## 乙、業務に関する事項

### 1. 血統登録、証明申込

#### (1) 主な登録申込頭・件数

令和5年度の主な申込頭数・件数は次のとおり。

##### 1) 血統登録

種別	本局		支局		合計	
申込頭数(雌)	37,345	頭	165,079	頭	202,424	頭
〃(雄)	144	頭	248	頭	392	頭
計	37,489	頭	165,327	頭	202,816	頭
(前年度実績比)	90.3	%	94.4	%	93.6	%
予算	41,115	頭	165,000	頭	206,115	頭
(予算比)	91.2	%	100.2	%	98.4	%
登録頭数(雌)	37,469	頭	164,818	頭	202,287	頭
〃(雄)	145	頭	248	頭	393	頭
計	37,614	頭	165,066	頭	202,680	頭

##### 2) 移動証明

種別	本局		支局		合計	
申込件数	2,222	件	1,204	件	3,426	件
(前年度実績比)	76.8	%	78.6	%	77.5	%
予算	2,570	件	1,400	件	3,970	件

(予算比)	86.5	%	86.0	%	86.3	%
証明件数	2,318	件	1,203	件	3,521	件

### 3) 審査成績証明

種別	本局		支局		合計	
牛群審査(雌)	6,935	頭	10,180	頭	17,115	頭
〃(戸数)	573	戸	854	戸	1,427	戸
個体審査(雌)	456	頭	318	頭	774	頭
〃(雄)	7	頭	3	頭	10	頭
計	7,398	頭	10,501	頭	17,899	頭
(前年度実績比)	96.4	%	79.2	%	85.5	%
予算	8,320	頭	14,470	頭	22,790	頭
(予算比)	88.9	%	72.6	%	78.5	%
証明頭数						
牛群審査(雌)、 体型調査	17,992	頭	26,597	頭	44,589	頭
個体審査(雌)	456	頭	318	頭	774	頭
〃(雄)	2	頭	3	頭	5	頭
計	18,450	頭	26,918	頭	45,368	頭

### 4) 検定成績証明

種別	本局		支局		合計	
牛群一括検定	4,024	件	70,114	件	74,138	件
〃(戸数)	87	戸	705	戸	792	戸
個体検定	93	件	132	件	225	件
計	4,117	件	70,246	件	74,363	件
(前年度実績比)	93.7%	%	98.8%	%	98.5%	%
予算	3,920	件	68,480	件	72,400	件
(予算比)	105.0	%	102.6	%	102.7	%
証明件数	4,160	件	70,114	件	74,274	件

### 5) 再交付・更正・書換申込、E T事務取扱件数

種別	本局		支局		合計	
再交付	200	件	1,281	件	1,481	件
更正・書換	204	件	340	件	544	件
E T事務取扱	1,088	件	1,940	件	3,028	件

### 6) 血統能力証明

種別	本局		支局		合計	
証明件数	435	件	4,092	件	4,527	件

7) 遺伝子型証明

申込件数

種 別	本 局	支 局	合 計
雄牛の遺伝子型判定	180 件	245 件	425 件
E T生産牛の親子判定	1,061	1,775	2,836
父母牛の判定	524	1,841	2,365
卵性の判定		0	0
フリーマーチンの判定	137	218	355
遺伝的同一性の判定		96	96
新たな検査なし報告書発行	43	211	254
CVM判定		1	1
BLAD判定		1	1
BLAD/CVM同時判定	1	0	1
RED因子検査	11	3	14
単蹄検査		0	0
ブラキスパイナ検査	146	256	402
CDの判定	147	256	403
BLAD/CVM/単蹄の同時判定	144	255	399
X TチップSNP検査	1,380	3,222	4,602
胚致死性遺伝子7種類	84	189	273
SNP 遺伝子型による親子判定	6	5	11
無角の判定	1	3	4
牛βカゼイン判定	19	24	43
計	3,884 件	8,601 件	12,485 件

8) 選 奨 (生涯検定牛)

種 別	本 局	支 局	合 計
金	86 頭	1,400 頭	1,486 頭
銀	116 頭	2,459 頭	2,575 頭
銅	450 頭	8,504 頭	8,954 頭
計	652 頭	12,363 頭	13,015 頭

2. 登録、育種改良のための情報収集、調査研究及び情報提供

(1) 登録、育種改良のための情報提供

- 1) スマートフォンやパソコンで検索利用できる「近交情報システムWeb」や牛群検定成績一括証明農家向けの「登録情報活用システム(RIUS)」の提供、体型審査受検農家への直近の牛群遺伝改良情報や近交回避情報の還元努めた。
- 2) 自動登録同時SNP検査実施農家に対して、登録料の半額程度の還元を継続すると

ともに、令和5年8月からはすべてのSNP検査実施農家に対して、直近のゲノミック評価値を掲載した牛群内遺伝情報の送付に加えて、牛群全体の改良状況を分かりやすくグラフ化した「ゲノミック情報利活用システム(GenIUS)」をウェブ上で提供開始した。

- 3) 令和5年8月から、(独)家畜改良センターの雌牛評価速報値の毎週公表開始を受け、当協会ホームページで閲覧を開始し、雌牛ゲノミック評価情報還元の迅速化に努めた。
- 4) 令和6年1月から、 $\beta$ カゼインA2型の遺伝子型調査を開始した。
- 5) 高得点牛や牛群検定高記録、生涯検定高記録、種雄牛及び雌牛のゲノミック遺伝評価値等について、本会ホームページや機関誌等を通じて広く情報提供を行った。

## (2) 調査及び研究事項

- 1) 日本中央競馬会の畜産振興事業として、本年度から「乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業」を開始し、令和5年9月に推進委員会を開催して、疾病形質データの継続的収集とSNP情報によるゲノミック評価の精度向上、ハプロタイプによる遺伝性疾患等の保因状況の識別、疾病形質を考慮したNTPや長命連産効果の見直し等の事業計画について検討した。また、関係機関や酪農家の協力を得て、疾病形質データの収集並びにSNP情報を有する雌牛の体型審査データ収集を行った。
- 2) 乳用牛群検定全国協議会に協力して、後代検定事業に必要な初産検定牛(後代検定材料娘牛及び同期牛)の体型データ収集と同協議会への提供、併せて体型調査農家への情報還元を行った。
- 3) 乳用牛群検定全国協議会に協力して、(独)家畜改良センターが行う泌乳能力及び体型の遺伝評価に必要な血縁ファイルを作成し、同協議会に提供した。
- 4) 乳用牛群検定全国協議会に協力して、搾乳ロボットに関連した体型形質等のデータ収集等と、搾乳ロボット適合性指数開発のための作業を行った。
- 5) 乳用牛群検定全国協議会に協力して、ホルスタインの改良に必要な雄牛並びに雌牛選定のためのSNP検査を実施した。
- 6) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、SNPデータによる血縁矛盾調査並びにゲノミック評価手法の開発・検証を行った。また、本年度は、SNP検査の試料採取の効率化とその普及推進のため、耳片試料採取用アプリケーション及び試料送付用チューブを希望の道県に配付した。
- 7) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用種雄牛後代検定事業」に必要な候補種雄牛に係る近交回避資料と父母牛の能力調書を作成し、同事業団に提供した。

- (3) 家畜改良関係5団体(家畜改良センター、家畜改良事業団、日ホ、ジェネティクス北海道、十勝家畜人工授精所)で構成する「乳用牛改良推進協議会」において関係会議に出席して、2023年度乳用牛改良推進実施計画(①雌牛SNPデータのリファレンス集団への追加によるゲノミック評価の信頼度向上、②ヤングサイアの活用、③調整交配の再構築、④後代検定の効率化、⑤雌牛ゲノミック評価の迅速化等)について協議し決定した。

- (4) 令和5年11月21日から2日間、フランス南西部のテーマパーク「ピュイ・デュ・フー」で開催された世界ホルスタイン・フリージアン連盟（WHFF）主催の2023年世界ホルスタイン・フリージアン会議に、日本から、前田日ホ協会長ほか8名が出席した。併せて、酪農家2戸訪問とプリムホルスタイン・フランス（登録協会）創立100周年記念ホルスタインショウを視察した。

### 3. 登録、審査に関する研修会、講習会及び共進会の開催

#### (1) 登録委員研修会の開催

登録業務の円滑な遂行と審査技術の向上を図るため、令和5年度地区別登録委員研修会を4年ぶりにブロック単位で次のとおり開催した。併せて支部・承認団体夏期登録事務担当者会議を開催した。

地区	期日	開催県	開催場所	出席者
東北	7月27日～28日	岩手県	つなぎ温泉愛真館、小岩井農場	54名
関東	7月31日	日ホ	オフィス東京（登録事務担当者会議のみ）	16名
中部・北陸	7月18日～19日	愛知県	岡崎ニューグランドホテル、愛知県畜産総合センター	28名
近畿	7月27日～28日	兵庫県	兵庫県立播磨農業高校	23名
中国・四国	8月3日～4日	広島県	ラフォーレ庄原、広島県立総合技術研究所	47名
九州	7月24日～25日	佐賀県	佐賀県JＲ会館、(株)ホルトリバー	35名

#### (2) 支部・承認団体登録事務担当者会議等の開催

登録事務の円滑な遂行を図るため、前項の地区別登録委員研修会の第1日目終了後に、各地区で支部・承認団体登録事務担当者会議を開催した。また、令和6年1月31日にもオンラインで冬期登録事務担当者会議を開催した。

#### (3) 支部・承認団体登録事務取扱研修会の開催

支部・承認団体の登録事務をより円滑に遂行するため、令和5年9月7～8日及び9月14～15日に本会会議室並びにオンラインで研修会を開催し、延べ29府県から支部・承認団体登録事務担当者39名が出席した。

#### (4) 第16回全日本ホルスタイン共進会の開催決定

令和7年10月25～26日に北海道安平町で開催する第16回全日本ホルスタイン共進会に向けて、本支局間において全共開催の予算、共進会規則の一部変更や都道府県別出品割当頭数案等を検討し、理事会に提案した。

(5) 中央審査研究会並びに内部審査研究会の開催

令和5年9月20～22日に北海道江別市の酪農学園大学付属農場において中央審査研究会を開催し、15都道府県から畜産技術者等25名が出席して、審査技術の実技研修を行った。また、これに先立ち9月18～20日に同農場において本支局審査委員による内部審査研究会を開催した。

(6) 県単の登録講習会等への職員の派遣

県単実施の登録講習会や自動登録推進、登録掘り起しの要請を受け、職員を派遣又はオンラインで対応した。

(7) 地区共進会等への審査委員の派遣

各地区の乳牛共進会等からの要請を受け、審査委員を派遣した。

#### 4. 機関誌の発行及び図書等の出版

(1) 機関誌の発行

本会機関誌「全酪新報・日本ホル協特集号」を令和5年7月20日、9月20日、令和6年1月20日、3月20日の年4回発行し、会員及び登録委員、その他関係者に直送した。

また、全酪新報の1月1日号と毎月20日号の「ホルスタイン牛の広場」に改良関連記事を提供した。

(2) 「登録委員だより」等の発行

登録取扱事務の連絡徹底と乳牛改良等の現場で必要な情報を提供するため、「登録委員だより」を発行して、支部・承認団体を通じて登録委員に配付した。また、「ホルスタイン登録の手引き」、「自動登録マニュアル」、「ホルスタインの見方」、「線形評価法」等の冊子を作成し、関係者に配付した。

(3) ホルスタイン手帳2024年版を作成し、登録委員はじめ関係者に配付した。

#### 5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 支部・承認団体の表彰

登録推進対策の一環として、会員拡大推進、自動登録普及推進、血統登録普及推進、審査普及推進の各表彰要領に基づき、対象となる支部・承認団体6部門計延べ43団体を表彰した。

(2) 登録委員の表彰

登録委員に対する表彰要領に基づき、登録の普及推進と正確性の向上に貢献したと認められた登録委員24県58名を表彰した。

(3) 審査成績優秀牛群の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、審査成績優秀牛群表彰要領に基づき、審査成績優秀牛群30戸を表彰した。

(4) 検定成績優秀牛群並びに優秀牛の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、検定成績優秀牛群並びに優秀牛表彰要領に基づき検定成績優秀な10牛群並びに優秀牛4部門32頭、都府県記録更新牛1頭を表彰した。

(5) 支部・承認団体に対する助成

支部・承認団体に対して、登録普及に関する助成要項に基づき登録取扱委託手数料、抜取調査委託手数料、登録講習会補助金等を交付した。

(6) 地区共進会への選賞

各地区共進会やB&Wショーに対して、共進会出品優良牛選賞規程に基づき選賞を行った。

(7) ジャージー種牛の登録等事務の受託

日本ジャージー登録協会からの委託を受けて、ジャージー種の登録事業を行うとともに、全国ジャージー酪農振興協議会の事務局業務を受託して行った。令和5年度の主な登録申込頭数・件数は次のとおり。

種別	都府県		北海道		合計	
血統登録(雌)	616	頭	818	頭	1,434	頭
〃(雄)	0	頭	0	頭	0	頭
移動証明	7	件	0	件	7	件
審査成績証明						
牛群審査	71	頭	24	頭	95	頭
個体審査	14	頭	28	頭	42	頭
検定成績証明						
牛群一括	0	件	211	件	211	件
個体検定	0	件	11	件	11	件
再交付・更正・書換	3	件	5	件	8	件
E T事務取扱	8	件	0	件	8	件
遺伝子型調査	9	件	0	件	9	件

(8) 全国ホルスタイン改良協議会の事務受託

全国ホルスタイン改良協議会の事務局を受けて、関連事業を実施した。令和5年4月14～15日に静岡県の御殿場市馬術・スポーツセンターにおいて第10回全日本ブラックアンドホワイトショウ、12月1～2日に宮崎県の都城地域家畜市場において、15都道府県から酪農家と学生、関係団体職員等126名が参加して令和5年度ジャジングスクールを開催した。

(9) 日本ホルスタイン会館の運営

日本ホルスタイン会館の財産価値の維持と有効活用に支障が生じないように、会館の運営に必要な管理・整備に努めた。